

本を選ぶ

高校図書館版

NO.26 1998年(平成10年)11月10日

●発行/ライブラリー・アド・サービス
本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28-517 TEL=03-3235-6168

ぶつく・えんど

本を読む場所

初めて沖縄に行った。もう十月だというのに夏休みのような快晴にめぐまれて、連れ出してくれた人たちも楽しく、夕方の那覇の町を歩いていたら、国際通りに本屋があった。独自のレーベルから琉球歌謡を出している丸福レコードの斜め前にある国際書房。小さなレコード店の中にはところ狭しとCDが並んでいたが、この本屋さんも広からぬ間口の、ちょっと奥行きがある作りで、時間が巻き戻されたような感じが懐かしかった。

東京の北の外れで育った私が、小学生のころ通った本屋もレコード屋も、ちょうどこのくらい大きさで、雑誌や漫画は新刊だが、いわゆる本は入れ替えが今に比べるとゆっくりだったのか、棚の決まった場所にいつも同じ本が背中を見せていたような気がする。別にそれが古びていたり、汚かったりするわけではない。ただ、そこに立っているだけ、という風情が落ち着いていた。

電車で通学するようになり、乗り換えの池袋駅の近くでは、芳林堂によく寄った。ビルになった現在の店ではなく、一本裏の通りで、手すりのある階段で上にのぼる途中に毎月届いてぶら下がる *Beatles Monthly* を買っていた。もちろん立ち読みはした。デパートに大きなフロアの書店が開店して、大きな平台に新刊がいっぱい積んであるようになったのは、それから少しあとのことだ。

どこで本を読むか。寝床と電車の中を別にすれば、私は書店で読んでいる。読んでから買う本もあるし、買うまで読まない本もあるが、とにかく本を手にとって次々に言葉に浸っているのは、本屋さんの棚の前である。

最近刊行された宮下志朗さんの『読書の首都パリ』（みすず書房）によれば、一九世紀の半ばまでパリでは立ち読みが出来なかったらしい。そもそも小説の発行部数が千部ぐらい、今の値段にすると一万円ぐらいして、しかも大半は「読書クラブ」という有料閲覧所に買い取られた。一昔前のレンタルビデオを思えばよい。

やがて本の価格破壊が起こり、今世紀は本は買って読むものになった。読めば残る。増えてゆくのを楽しもうちはいいが、哲学者アランみたいを選び抜かれた古典をベッドのわきに、という暮らしをしていない身としては、ときどきさっぱりとしたくなる。ここまでは仕方ない。

そこから例えば電子ブック（コンビニで文字データを落とす）の夢が語られる。流通されない本は、電子図書館でオンライン検索をして読めばいいという。たぶん、そう遠くない将来、これに近いことが実現して、音楽の聞き方がすっかり変わったように、本の読まれ方が変わるのだろう。

でも、ふと思う。パベルの図書館がある面が悪夢であるのと同じく、大都市の巨大書店と音楽のメガストアと何百万冊（個？）の書物をデータ化したライブラリーの中をさまよって歩くと私たちは、どこで本を読むのだろう。あの昼下がりの夕方の空気に包まれた、身体になじんだ店内の棚の前で読めなくなってしまった、その世界のどこで。

(尾方邦雄：みすず書房)

本がナイ!! 田舎の学校図書館奮戦記 その2 授業編

中村吾子

軽井沢高校図書館の蔵書数は、公称で13000冊余りです。古いものは昭和20年代の本もまざっています。書庫がなく、閲覧室の本を収めるスペースはのこり2000冊分あるかないか、というところなんです。この貧弱すぎるお品揃えで、レポート学習とがっぷり四つに組むとどうなるか。これが今回のお話です。

アレキサンダーVSナポレオン

本校には普通科の他に英語科があって、前回最後にちょっと書いた「外国事情」の授業は、その英語科の3年生が履修することになっています。この授業を担当されたT先生から、この授業を図書館で行いたい、と相談を受けたのは3年前のことです。

今までにも、単発で数時間図書館を利用する授業はあったものの、週2時間の授業を年間を通じて図書館で行う、というのは初めての体験でした。でも、今までの授業との関わりとさして変わらないだろう、という軽い気持ちで元気にOKしたのです。結局、私はこの授業に3年間つき合うことになったわけですが、最初の1か月がすぎる頃には、自分自身の見込みの甘さを痛感することになりました。

1年目。前期の第一レポートは担当のT先生も手探りの状態で始まりました。T先生が選んだふたりの人物「ナポレオン」か「アレキサンダー大王」のどちらかについて自分自身の考えをまとめる、というものでした。40人の生徒がどちらかを選んでレポートにするわけですが、資料はまるっきり足りません。人物が決定したのが4月に入ってから。大急ぎで図書館の中を見回しても、それぞれせいぜい3~4冊しかないのです。世界史通史の全集の中の記述や、人物事典、百科事典の記述を含めてもまるでたりません。しかも、同じような割合でふたりのどちらかに分かれてくれるわけでもないのです。何冊あればどうにかなるのか、見当もつきません。

近隣の高校や会議で会う司書さんたちに、とに

かく何でもいから貸してほしい、と電話をかけまくりました。書籍総目録をひっくり返したり、本屋を駆け回って発注もしました。各校からは1~2週間で本が私の手元まで届きました。発注したうちの何冊かは品切れや絶版になっていたりもしましたが、それらが手に届くまで、本当に冷や汗ものでした。

個人レポートにするためには、テーマを限定しすぎてしまうのは危険だ、ということもT先生ともども実感しました。

自由テーマで大騒ぎ

後期は、生徒さんひとりひとりが興味関心のある人物を選んで、その人物の生き方や考え方を学び、その人物の生き方にたいして賛成か反対か意見陳述をすることになりました。T先生は、「人物に光をあてることで、その人物が生きた時代の文化的、歴史的背景、さらには風土にかかわるものまで総合的な理解が深まるし、教科の垣根を越えて、今まで学んだことすべてを材料として、自ら考える姿勢が育まれる」と考えられたのです。

40人の生徒がいれば、選ばれる人物も40人近くになります(多少は重なりますから……)。歴史上の人物から、今話題の人まで。本当にさまざまな人があがってきました。テーマを決めるときにT先生が生徒さんとかなり話をつめてくださったので、突拍子もない人物があがってくることはなかったものの、資料の見つけ易さ、見つけ難さにはかなりの差がありました。生徒さんが興味を持つのが、テレビなどのメディアで取り上げられた人物が多い、ということには気づきました。でも「前の週の『知ってるつもり』で取り上げられた誰それ」といわれても、店頭には本の影もない、ということはいくつもあります。しかも、1本のレポートを書くためには、ひとりの生徒さんが5冊10冊と資料を必要とすることもあるわけです。

授業が始まると、生徒さんはわっとばかりにカウンター周りやT先生のところへ集まり、口々に

何の資料を探しているかを言いたてます。私は書架のほうへ行きながら、生徒さんから言われた本を次々に渡していきます。でも、すぐには出てこない本や、図書館に本がないことだって山程あるわけです。他の図書館への問い合わせや発注は、外線電話がないので授業の後になります。もっとも、本の題名がはっきりしていることのほうが稀ですから、レファレンスの多くは答えが出るまでに、ちょっと時間がかかります。

授業の度に、あるいは昼休みや放課後。ひっきりなしにレファレンスがかかり、予約した本についての問い合わせがある。てんてこまいの毎日が始まったのです。もっともひとつのレポートを仕上げる時間的制約は4か月ほどあったので、テーマさえ早めに決まれば、本を発注してもかなり余裕をもって待っていられます。しかし、こちらの思うようにはなかなかいきません。本を取り寄せてみたものの、ピンとこないでテーマを変えたり。のんびり構えずぎて、10月をすぎたころから慌てだしたり。それはもう、大騒ぎでした。ことに2年目からは、前期で人物、後期で社会問題とふたつのレポートを完成させることになったので、騒ぎの度合いは深まりました。

学校図書館 & 学校司書の使い方

私には「万能」というには程遠い知識しかありません。しかもその知識にはかなり偏りがあります。生徒さんからのレファレンスが、一体何の分野について聞かれているものなのか、そこから始めなければならないこともありました。資料を探していくにも、生徒さんと会話をかさね、レポートの中でその資料がどういう使われ方をしているのか。そこまで話していかないと、本当に必要としている資料に行き着けないこともわかりました。ただこの授業は、担当のT先生が本当にこまめに生徒に手をかけ、また司書の私と話をかさねていて、先生自身の授業の目的や方向性がはっきりしていたので、そういう点では恵まれていたと思います。生徒さんからのレファレンスも、「こう使いたいの、こういう資料」というのがはっきりしていました。

またこの授業では、生徒さんが好きなことにはとことん凝り性なのがわかりました。2年目以降は、2月の自宅研修に入るまでに2本のレポートを提出することが求められていたので、厳密な締切はないようなものでした。第一レポートで「宮澤賢治」を選んだ生徒さんは、10冊以上の本を読破し、文化祭の委員会発表でも賢治を取り上げ、惚れに惚れ込んだ結果、大作の第一レポートが出来上がったのは10月末にずれ込みました。死刑制度を第二レポートで取り上げた生徒さんは、第一レポートはさっさと仕上げ、夏休み前から第二レポートにとりかかりました。実際には2年生のディベートの授業の時から、死刑制度について研究しようと思っていたらしく、読んでいる資料の数も半端ではなかったのですが、授業の時間や放課後などに、私をはじめ、友人や先生方をつかまえては議論をかわしていました。

この授業を経験し、卒業していった生徒さんたちはほとんど短大や大学へ進学し、今度はそちらでリサーチとレポートの講義に取り組んでいます。夏休みなどに帰ってくると、「“外事”の授業のほうがよっぽど大変だった」などと言っています。市立の図書館へ行ってみたり、大学の図書館へも積極的に資料請求している様子を聞かたびに、彼らは図書館の使い方を身につけてくれたんだなあ、とうれしくなります。

本の新しさ、ときには古さ。資料の難易度。一冊の本を渡していくことの難しさを実感した3年間でした。「図書館を使う」と一口で言いますが、使う側にとっても使ってもら側にとっても、かなり根気や根性が必要になります。足りない予算、充分でない資料……ないない尽くしの図書館。でもそこには司書がいて、探しよう使いようによっては、1万冊を越える資料でも、そう捨てたものでもないと思うのです。「上手な学校図書館と司書の使い方」について、先生方はもちろん、生徒さんともたくさん話をしていかなければならないなあ、と思っています。そこにある図書館を活かすのは双方の努力次第なのですから。

(なかむらあこ：長野県軽井沢高校図書館)

春はオリエンテーションから

スタッフマニュアルをつくらう(2)

木下 通子

数ある図書館の仕事の中で、何をマニュアル化しようか？ 悩んだ末、まず「図書館オリエンテーション」を文章化することにしました。オリエンテーションは、新学期すぐに行われる図書館の最大行事ですし、利用者が図書館(司書)と出会うはじめての場なので大切にしています。新入生だけでなく、新転任職員にも行っています。

1 事前準備

事前準備はとても大切です。

- ①3月中旬から新入生、新転任職員の貸出券(1Dカード)用データを入力し、発注する。
- ②3月末、教務主任に日程の調整を依頼する。新入生には、入学式以降できるだけ早い日程で、各クラス1時間(通常の授業時間内に)確保する。
- ③オリエンテーション用の資料を揃える
 - ・それぞれの1Dカード
 - ・図書館利用のしおり
 - ・らいぶらりい いんぷおめーしょん(司書の発行する新着図書案内)第1号
- ④当日実演するブックトーク用の本を選ぶ

2 新入生オリエンテーション当日の流れ

授業の担当教師が生徒を引率して図書館まで来るので、教師には司書を紹介してもらいます。進行は司書がします。

説明は、元気にニコニコと大きな声で行うこと。司書に声をかけやすい雰囲気を作ることを心がけています。図書館は一人一人の利用者のためにあり、開かれた場所であること。利用者の秘密を守る場であることなど、こちらの姿勢をきちんと伝えたいと思っています。

①司書の自己紹介

自己紹介を兼ねて、小・中学校では司書がいる図書館を利用してこなかった生徒たちに、司書がいるのでこんなサービスができるというのを知ってもらうことを目的にして話します。

・カウンターには司書がいて、貸出・返却の手続きや、本や調べものなどの相談を受ける仕事をしてい

ること。

・図書館は誰がどんな本を借りているかなどのプライバシーを守ること。司書は利用者の秘密を漏らさないこと。

・図書館への要望を随時受け付けていること。

②利用のしおりを使って説明

・利用案内に書いてある「図書館の自由に関する宣言」をわかりやすく解説し、この図書館を作っていくのは生徒一人一人であることを強調する。

・図書館は生徒が学校にいる間いつも開いていることを知らせるため、図書館の開館時間、閉館時間を案内する。

・館内資料の配置場所を案内する。入り口から奥の書架に向かって、実際にその場所に移動しながら何がどこにあるのか説明している。

・貸出、返却方法について説明する。本と1Dカードを持ってくればOK。閉館しているときには、外の返却ポストに入れてもOK。

ここでも、利用者のプライバシーを守ることを強調する。たとえば担任に「〇〇さんはどんな本を読んでいますか？」と聞かれても、「司書とあなたとの秘密だから教えません」というふうに、具体例をあげて説明する。

・予算の関係で、コミックは寄贈に頼っていることを紹介し、寄贈をお願いする。

・CD-ROMを使って、検索サービスができることを紹介する。

・レファレンスサービスについて紹介する。

・授業でも図書館が利用されることを紹介する。

③司書がブックトークを行う。

図書館の本は分類番号順に並んでいることを紹介するため、0~9の分類からそれぞれ2、3冊ずつ本を選んで、実際にブックトークを行う。

④予約制度を説明

読みたい本が見つからない時には図書館に申し込めることを、予約の用紙を見せて記入の仕方を説明しながら紹介する。図書館の蔵書として購入できない場合でも、他館から本を借りることができるシステムがあることも説明する。また、予

● オリエンテーション 五つの基本

- だれに：①新入生 ②新転任職員
- いつ：①新入生は入学式以降できるだけ早く
②新転任職員は4月中旬まで
- どこで：①図書館
②図書館と視聴覚室
- だれが：①司書
②図書部主任・分掌内の視聴覚係・司書
- ポイント：①また図書館に来たいと思わせる・元気にニコニコ大声で・わかりやすい説明
②個人的にも授業でも利用できそうと思わせる

● 事前準備

- 3月中旬からスタート
- ①IDカード用データを入力、発注
- ②3月末、教務主任に日程の調整を依頼
- ③配布資料を揃える
- ④当日のブックトーク用の本を選ぶ

● 本番1 新入生向けプログラム

- ①司書の自己紹介
- ②利用のしおりを使って説明 (①と②で15分)
- ③ブックトーク (15分)
- ④予約制度を説明
- ⑤館内を自由閲覧してもらう
- ⑥希望者に本を借りてもらう
- ⑦IDカードの正誤確認 (④～⑦15分)

● 本番2 新転任職員向けプログラム

- ①図書館の案内
- ・図書館間ネットワークの紹介
 - ・CD-ROMのデモンストレーション
 - ・息抜きの場としても使ってほしいとアピール
- ②視聴覚室の案内

約の連絡はクラス担任を通して行うが、利用者のプライバシーを守るために配慮をした連絡用紙を使っていることを、実物を見せながら説明。この時に、督促など他の連絡の場合にも、プライバシーは守られることをあわせて紹介する。

- ⑤図書館での禁止事項は特にないが、「他人に迷惑をかけないこと」が唯一のきまりであることを話す。
- ⑥館内を自由閲覧してもらう。司書もフロアで生徒に話しかける
- ⑦借りたい本がある人は借りてもらう。
- ⑧IDカードの氏名に間違いがないか確認する。

3 新転任職員オリエンテーション

4月中旬の授業時間内に一時間割り当ててもらい、図書館と視聴覚室を案内しています。図書館の説明は図書部主任と司書で、視聴覚室の案内は図書部主任と分掌内の視聴覚係で行っています。

- ①図書館の案内
- ・この図書館は、利用者の要求に応える図書館であること、利用者のプライバシーを守ること、予約制度などについて、生徒に説明するのと同じように説明をする。生徒のプライバシーを守ることにも強調して話し、協力をお願いする。
 - ・資料収集方針・選定方法など、学校内で合意を得

ている図書館の運営方針について説明する。

・授業での利用について、利用された事例を紹介しながら説明する。今までに作ったブックリストなども印刷して渡す。

・岩槻市周辺の図書館間ネットワークの紹介と、市立・県立図書館から受けられる相互協力サービスをくわしく説明する。

・新聞のスクラップサービスについて説明。

・CD-ROMのデモンストレーション。

・息抜きの場合としても使ってほしいとアピール。

・自由閲覧してもらう。

②視聴覚室の案内

・視聴覚室の利用方法について説明。

・機器の説明。

・機器のデモンストレーション。

新転任職員のオリエンテーションは、説明に力を入れるよりは、CD-ROMをさわってもらうとか、どんな本があるかを見てもらうことに時間を割いています。

生徒のオリエンテーションの時間配分も、説明15分、ブックトーク15分、自由閲覧と貸出や質問を受けるのに15分と、館内を見てもらう時間を多くとっていますが、説明に熱が入ると時間が足りなくなってしまう。いかにわかりやすく説明できるか、利用者にまた図書館に来てみたいと思ってもらえるかが、オリエンテーションのポイントです。

(きのした みちこ：埼玉県岩槻商業高校図書館)

生物地理学を学ぶための入門書

島の生物学

—動物の地理的分布と集団現象—

木本新作 著

「島」の生物相や生物群集に関する先達たちの研究の歴史をひもとき、孤島における動物の形態的・生態的・遺伝的分化や地理的分布を解説する。

A 5判/上製本/200頁/本体3500円+税

東海大学出版会

〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4 ☎03(5478)0891

読のしく英米詩

木下卓編著
野田雅孝

●作品ガイド120 英米詩をもっと深く味わいたい人に最適のテキスト。 二八〇〇円

読のしく英米幻想文学

大神田丈二/笹田直人編著 ●作品ガイド120 見開きで各作品を解説する。 二八〇〇円

読のしく英米女性作家

久守和子他編著 ●作品ガイド120 各作品を時代・ジャンルを越えて俯瞰する。 二八〇〇円

イギリス小説のヒロインたち

久守和子著 ●関係のダイナミックス ヒロインたちを読み解く手がかり： 三〇〇〇円

ミネルヴァ書房

京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL075-581-0296 ※価格税別

図書館必備の基本図書

全15巻(17冊)完結

国史大辞典

空前絶後の規模と内容—最新の歴史大百科

総項目数五万四〇〇〇余、日本歴史の全領域をおさめ、考古・民俗・宗教・美術・国語学・国文学・地理など、隣接分野からも必要項目を網羅。執筆には各学界から三〇〇〇余名を動員し、最新の研究成果を盛り込み分かりやすく解説。新時代の歴史理解にとつめた画期的歴史百科辞典。
▼四六倍判・函入・平均一〇〇〇頁/明細・内容見本・送呈
全17冊セット価 二六〇、〇〇〇円(税別)/毎月一冊ずつの配本(お支払いはその都度)もいたします。分割払いの便法もありますので、小社販売部までご照会下さい。

〒113-0033 東京都文京区本郷七丁目二一八
電話 〇三—三八—三一九—五一一(代表)

吉川弘文館

21世紀「福祉の時代」に心をこめてつたえるヒューマンドキュメント。

シリーズ

福祉に生きる

編集 一番ヶ瀬康子/津曲裕次

若者と心やさしき人たちと未来の福祉を語りたい！
本シリーズは福祉に携わった先駆者たちのはじめての書き下し伝記シリーズです。分野は福祉の全てに広がります。

●第1回収録書

1.山高しげり/2.草間八十雄/3.岡上菊栄/4.田川大吉郎/5.糸賀一雄/6.矢吹慶輝/7.渡辺千恵子/8.高木憲次/9.アノルド・トインビー/10.田村一二/11.渋沢栄一/12.塚本哲/13.ジョン・パチラー/14.岩永マキ/15.ゼノ神父/16.ジェーン・アダムズ/17.渡辺海旭/18.ピアソン宣教師夫妻・佐野文子/19.佐藤在寛/20.シャルトル聖パウロ修道女会 以上全20巻(著者名省略)

B6判・上製・第1回配本20冊 揃定価(本体40,000円+税) 分売可(各冊2,000円+税)

大空社 〒115-0044 東京都北区赤羽南2-6-6
TEL 03-3902-2731/FAX 03-3902-2734

人間が地雷をすてる日

柳瀬房子著 四六判 176頁 定価(本体1350円+税)

●人間が人間にだけ向けて作った、「悪魔の兵器」といわれる対人地雷。現在、地球上には1億2千万個の対人地雷が埋められ、毎日70人の新たな被害者を生み続けています。

●本書は対人地雷の全容を明らかにすると共に、廃絶への世界の取り組みの現状をレポートし、あなたにも廃絶への協力をお願いしています。



大日本図書 〒104-0061 東京都中央区銀座1-9-10
☎03(3561)8679 FAX03(3561)3065

島崎藤村コレクション ヨン缶巻

膨大な資料と研究で構成する、新しい文学史

- 伊東一夫・青木正美 編 A5判・上製カバー装
- 第一巻 写真と書簡による島崎藤村伝 本体600円
 - 第二巻 知られざる晩年の島崎藤村 本体500円
 - 第三巻 藤村をめぐる女性たち 本体500円
 - 第四巻 肉筆原稿で読む島崎藤村 本体500円

大好評の妖怪画集シリーズ発売中!

◆鳥山石燕「画図百鬼夜行」 本体700円

◆竹原春泉「絵本百物語―桃山人夜話―」 本体600円

◆「晝斎妖怪百景」京極夏彦・多田克己 本体600円

〒170-0055 東京都板橋区志村2-1-05
TEL:03-5970-7431 FAX:03-5970-7477
国書刊行会

遺伝子の地図帳

[著] 田辺 功 / 山内豊明

●B5判・176頁・カラー多数 ●定価(本体2800円+税)

人間の遺伝子が染色体のどの位置にあるかを示した地図帳。病気と遺伝子の関係などをわかりやすく解説。

動物コミュニケーション

行動のしくみから学習の遺伝子まで

[著] T.R.ハリデイ / P.J.B.スレイター

[訳] 浅野俊夫 / 長谷川芳典 / 藤田和生

●A5判・592頁 ●定価(本体5800円+税)

生物学と心理学の共通領域「動物行動学」の全体像を一望する労作。豊富な文献紹介を織り込んだ格好の入門書。

西村書店 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-4-6
☎03-3239-7671 Fax:03-3239-7622

THE ENCYCLOPEDIA OF ANIMALS IN JAPAN 全11巻 日本動物大百科

監修=日高敏隆

- ◎日本に生息する全動物を収録
- ◎最新の研究成果による生活史と生態の解明
- ◎迫力満点の写真と詳細なイラスト



本年12月完結!!

全11巻揃定価:
39,277円(本体)

平凡社 〒152-8601 東京都目黒区碑文谷5-16-19
TEL:03-5721-1234 FAX:03-5721-1239

世界の歴史 地図で読む

ローマ帝国5月刊 / 古代ギリシア6月刊 / 古代エジプト7月刊
●B5変型判 / オールカラー 定価(本体各2000円(税別))

C・スカラ他
吉村忠典他II監修

歴史地図で楽しく知る古代世界の謎

歴史のダイナミックな動きが生きて蘇る!

◆四六判 / 上製本 定価(本体各1800円(税別))
イスラーム教 / キリスト教 / ユダヤ教

神の世界史

小滝透

神と人間の葛藤が世界史をどうつき動かしてきたか。
歴史と宗教のダイナミズムに迫り、
大胆な文明的視座を提供する書き下ろし三部作!

河出書房新社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2
☎03-3404-1201

学習者の視点にたった新しい編集

KENKYUSHA
NEW SCHOOL
ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY

ニュースクール 英和辞典

編者 伊藤健三・廣瀬和清・伊部 哲

手っ取り早く
訳語が引ける

[2色刷 / 和英・かな発音付]

- B5変型判 総1536頁
- 定価(本体2600円+税)



研究社 〒102-8152 東京都千代田区富士見2-11-3
電話 03(3288)7777 FAX 03(3288)7799販売
http://www.kenkyusha.co.jp

中学・高校生に読んで欲しい

大きい活字とゆとりのある行間で読みやすい本!!

14ポの活字を使った出版界初のシリーズ群

くらしっくミステリーワールド 全15巻 揃本体57,000円

ポピュラーミステリーワールド 全15巻 揃本体54,000円

もだんミステリーワールド 全15巻 揃本体54,000円

著名人が語る生きるヒント 全16巻 揃本体59,200円

著名人が語る考えるヒント 全16巻 揃本体59,200円

くらしっく時代小説 全15巻 揃本体54,000円

「日本の名隨筆」生きるってすばらしい

全20巻 揃本体75,728円

「日本の隨筆紀行」心にふるさとがある

全18巻 揃本体66,600円



リブリオ出版

〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-11
TEL.03-3943-8885 FAX.03-3943-3540

コンピュータ出版のリーディングカンパニー

アスキー

コンピュータに関する書籍、CD-ROM学習教材など教育のさまざまな場面においてご活用いただけるコンピュータ関連の書籍を多数取り扱っております。特に『マルチメディア図鑑シリーズ』のCD-ROMは図書館でも閲覧、貸出可能なものとなっており、すでに教育の現場でも多数、ご利用いただいている実績のある商品です。

コンピュータ関連書籍の商品をお求めの際には、是非お気軽にお問い合わせください。目的に応じた商品のご紹介やご購入方法のご案内をさせていただきます。

株式会社アスキー 出版営業部 (学校採用担当: 池田)

〒151-8024 東京都渋谷区代々木4-33-10 TEL:03-5351-8194

《限りなく広がる知識の世界》

古文書解読事典

大石 学監修 入門者のために古文書を新しい解読方法で教示したハンドブック。2800円

考古学を知る事典

熊野・堀越著 先土器から古墳時代まで図版を豊富に収録した入門者のための事典2800円

日常の生物事典

田幡・早崎他編 ペットから細胞まで身近な生物の不思議をわかりやすく解明した2800円

* 価格は税抜

東京堂出版

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7
☎03(3233)3741 最新図書目録送呈

合同出版

東京都千代田区神田神保町1-52 (税込)
TEL.03-3294-3506 FAX.03-3294-3509

よくわかる **ダイオキシンの汚染**
内外のオリジナルデータを基に毒性論、削減対策を提言する。大好評18刷。宮田秀明(摂南大学教授) 定価1470円

はてなせ **クイズ水とみどり**① 佐伯平二
どうして **クイズ水とみどり**②
どうして **クイズ水とみどり**③
寄本勝美(監修) 山本耕平(著) ●定価各1260円

よくわかる **環境ホルモンの話**
環境ホルモンの生体毒性を最先端のデータで解明した好書。大好評4刷。北條祥子(尚絅女学院短大教授) 定価1260円

よくわかる **ダイオキシン問題 Q&A**
ダイオキシン問題研究の第一人者が書いた大好評のQ&A入門テキスト。これでわかったと大好評。定価1260円

総合図書目録'98秋版あります。ご請求下さい。

1 古生物の総説・分類 本体10000円(税別)

古生物の科学 (全5巻)

図説 **日本列島植生史**
安田喜憲・三好教夫編 本体13000円(税別)

伊能図に学ぶ
(財)東京地学協会編 本体5000円(税別)

世界地理 2 **アフリカ**
B5判 672頁 本体28500円(税別)

■全6巻刊行開始・田辺 裕二総監修
■第1回配本・以後3ヶ月毎に刊行予定

数の悪魔

算数・数学が楽しくなる12夜



エンツェンスベルガー ベルナー絵 丘沢静也訳 数学なんてこわくない! 悪魔が案内するはてしなく不思議な数の世界の魅力。10歳からみんなが楽しめる、オールカラーの愉快な入門書。2982円(税込)

晶文社

東京都千代田区外神田2-1-12
電話03(3255)4501



朝倉書店

東京都新宿区新小川町6-29
〒162-8707 ☎03-3260-7631